

d a t a s e n s e

---

Chapter

1



# データセンスの 基礎知識

---

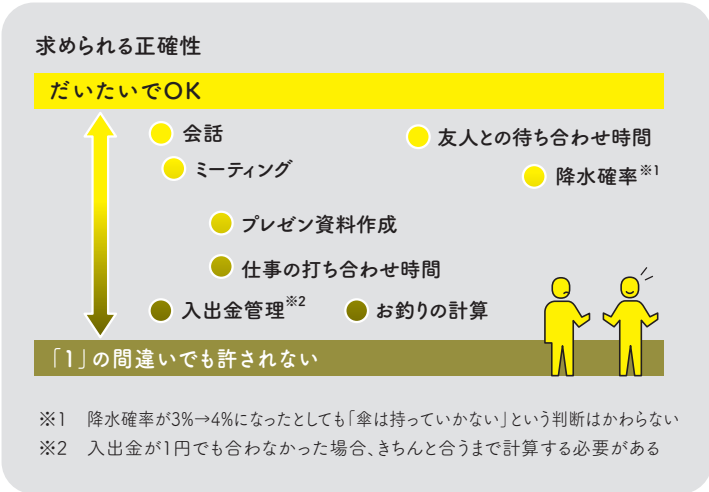
# ● 新しい“計算”の常識をあなたに

小・中・高校と学んできた算数や数学。その公式や問題などは、皆さんの心の奥底で様々な“思い出”になっていることと思います。例えば、**計算間違いは絶対ダメ!**という思い出。「15」が答えなら、「16」でも「14」でも×になってしまいます。残念ながら。

しかし、このデータセンスでは、これらの思い出を壊すような新しいやり方に挑戦していきます。例えば、

## 「**計算は間違ってもいい!**」

ということです。お聞きしますが、「数学が得意」と言っている人が計算間違いしているところを見たことはありませんか？ 私の周りにも数学や数字が得意な人がたくさんいますが、実際に計算を間違えているところをよく見かけます。も



もちろん、計算が得意な人は、すぐに間違いに気づいて訂正するのですが、間違いはあります。

例えば建物の設計など、精密な計算を要求される場合には、計算間違いはあってはなりません。しかし、飲み会での割り勘では、

「一人、2983 円ね」

という計算が求められているのではなく、

「一人、3000 円ね」

という結論が求められます。ざっくりいくら？ という場面。そう、少しの誤差であれば、実は計算は間違ってもよいのです。そんな誤差を許容する。じつは世の中は意外と計算間違いに優しい、と気づくこと。それがデータセンスの最初の一歩です。データセンスは、ビジネスの場面や様々なシーンで「役立つ」ということを主眼に置かれているのです。

## ● データセンスとは？

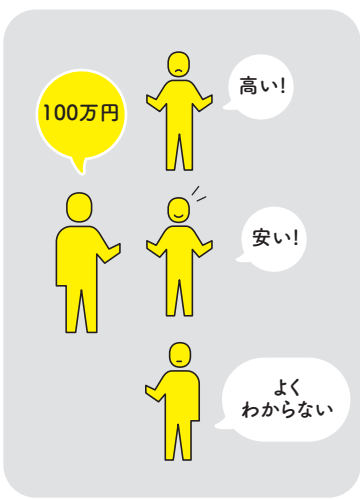
データセンス、その言葉の響きから、なんとなくその意味も伝わるのではないのでしょうか。データに対するセンスのことです。言い換えれば、データとは、数字や情報のこと。そして、センスとは、感覚、感性のことです。つまり、数字に対しての感覚みたいなものではないでしょうか。

例えば、秋の紅葉を見たとき、パッと鮮やかな黄色や赤に染まった葉と秋空とのコントラストが美しく感じますよね。ほとんどの方がそこに「美」を感じるのではないのでしょうか。

それも一つの“感性”、“センス”だと思います。

それが数字に変わったとき、「100万円」という数字を見てどんな風を感じるでしょうか。10円単位の節約をしている人であれば、とんでもない大金に映るでしょう。しかし、普段から億単位のビジネスをしている人であれば小さく感じるかもしれません。高校生ならなかなか目にすることのない大金だと思いますし、車買えるかも、なんて思う人もいるでしょう。つまり、ある数字（データ）を見たときの印象は人によってバラバラです。その数字に対して「良い」とか「悪い」とか、「これは頑張らないと！」とか「すごい成果だなあ」と感じたりします。その数字にどう反応するかは、自分の経験してきた過去の出来事に依存しているのです。

人間には五感があります。視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚です。“シックスセンス”なんてものもありますが、もしかしたらデータセンスは第7感。そう呼んでもいいのかもしれませんがね。





## 小数の掛け算

小数の混じった計算は「意味」を意識することで、小数点の移動の個数を数える必要がなくなります。

例  $1.9 \times 0.03$



ざっくり一度計算して答えを出してから、近づける

### 解決策

どのように計算しましょうか。

まず小数を整数に直して  $19 \times 3$  を計算してから、「小数点を移動させた数の合計分だけ小数点を移動させる」ということを小学校で学んだのを覚えていますでしょうか。

$$1.9 \times 0.03$$

小数点の移動は合計3個分!!

しかし、口頭の会話だと数えられない……

こんな風に解きました。しかし、小数が多い計算は、どのくらいの大きさかよくわからなくなる、というデメリットがあります。紙の上だったら小数点を移動させやすいのですが、頭の中だと混乱してしまうのです。

だからこそ、計算するにはコツがあります。それは、数字をざっくりでとらえて、意味で考えるということです。例えば、 $1.9 \div 2$ と考えてしまうのです。すると、0.03の約2倍というのが答えになります。つまり、答えは「0.06くらい」になる、と覚えておけば小数点をいくつ移動したか数える必要はありません。

実際にやってみると、

$$19 \times 3 = 57$$

という数を出してから、桁を合わせます。0.06くらいが答えになるので、0.057になる、とすれば、暗算できるようになります。

「こんないい加減な方法で本当にいいの？」と思う方もいるかもしれませんが、逆です。小数点の操作のほうが実は危うく、意味でとらえたほうがずっと間違えにくいのです。間違えない人は「意味」で計算を考えています。

$1.9 \times 0.03 \rightarrow$  「0.03が約2個ある」と  
解釈する



①  $19 \times 3 = 57$  と計算

②  $0.06$  にケタを近づけて  $0.057$  にする

## 小数の掛け算 演習

例えば、 $0.05 \times 0.9$ であれば「0.05を少し小さくする」と解釈すると0.045であると即答できます。「 $\times 0.4$ 」なら「半分くらいにする」という意味です。計算の解釈を意識しましょう。

1 小数の掛け算の練習をしましょう。

(1)  $0.1 \times 0.86$

(2)  $0.062 \times 0.8$

(3)  $0.81 \times 0.5$

(4)  $8.1 \times 0.03$

(5)  $0.98 \times 0.8$

(6)  $0.19 \times 0.6$

(7)  $0.092 \times 0.4$

(8)  $2.9 \times 0.03$

(9)  $0.03 \times 2.7$

(10)  $0.059 \times 0.4$



**2** 小数の掛け算の練習をしましょう。

(1)  $0.1 \times 0.06$

(2)  $0.9 \times 0.032$

(3)  $0.52 \times 0.6$

(4)  $0.1 \times 0.094$

(5)  $0.54 \times 0.1$

(6)  $7.5 \times 0.04$

(7)  $0.9 \times 0.044$

(8)  $0.4 \times 0.03$

(9)  $0.09 \times 5.3$

(10)  $0.03 \times 4.6$

**1** の答え (1)0.086 (2)0.0496 (3)0.405 (4)0.243 (5)0.784  
(6)0.114 (7)0.0368 (8)0.087 (9)0.081 (10)0.0236

**2** の答え (1)0.006 (2)0.0288 (3)0.312 (4)0.0094 (5)0.054  
(6)0.3 (7)0.0396 (8)0.012 (9)0.477 (10)0.138